

生命科学科の沿革

- 1990年4月 医学部生命科学科設置(学生入学定員40名)
分子生物学教室(遠藤英也教授)、細胞工学教室(押村光雄教授)
- 1992年4月 免疫学教室(阪口薫雄教授)、生体情報学教室(一井昭五教授)
- 1993年4月 神経生物学教室(大野耕策教授)、病態生化学教室(箸本英吉教授)
- 1994年3月 遠藤英也教授退官、佐藤建三教授就任
- 1994年4月 大学院医学研究科に生命科学系専攻(博士課程前期)設置
- 1995年10月 阪口薫雄教授転出、林眞一教授就任
- 1996年3月 一井昭五教授定年退官、西連寺剛教授就任
- 1996年4月 大学院医学系研究科に生命科学系専攻博士後期課程を設置
- 2001年3月 大野耕策教授転出、畠義郎教授就任
- 2001年4月 大学院医学系研究科生命科学系専攻に寄附講座
「ゲノム医工学講座(キリンビール)」設置
- 2003年4月 医学部組織再編により生命科学科2講座6分野となる。
- 2003年4月 大学院医学系研究科機能再生医科学専攻博士課程設置に伴い、
細胞工学分野、神経生物学分野教授併任
- 2004年4月 国立大学法人化
- 2004年4月 機能再生医科学専攻・生命科学専攻により21世紀COEプログラム開始
- 2006年4月 寄附講座終了に伴い分子細胞生物学講座にゲノム医工学設置
- 2008年11月 箸本英吉教授逝去、(2010年4月 岡田太教授就任)
- 2009年3月 西連寺剛教授定年退職、竹内隆教授就任
- 2009年4月 21世紀COEプログラムを継承して、鳥取大学染色体工学研究センター設置
- 2011年4月 「とっとりバイオフロンティア」設立
- 2013年3月 佐藤建三教授定年退職、初沢清隆教授就任
- 2014年3月 押村光雄教授定年退職、久郷裕之教授就任
- 2015年1月 「研究交流会(3学科合同)」開始
- 2015年5月 「鳥取大学医学部生命科学科特別奨励賞」の表彰を開始
- 2018年4月 「とっとり創薬実証センター」設立
- 2019年12月 井上敏昭准教授(ゲノム医工学分野)逝去
- 2020年3月 林眞一教授定年退職、常世田好司教授就任
- 2020年4月 大学院改組(2019認可)し、第1期生入学
- 2020年4月 分野名称変更